



9：25～10：25 〈20代編・高校生共通〉

まなび学園 3階 第2・3中ホール

講演「図書館ってどんな場所？」

富士大学経済学部 早川教授



## < めも >

(はじめに)

- ・図書館は、昔は薄暗いイメージがあった。
- ・おしゃべりすると怒られる。
- ・言葉遣いや職員の服装も役所的だった。
- ・センスの悪いしつらえ、使いづらい環境。
- ・生活に必要なでない存在。
- ・子どもの目線で接する司書—図書館の天使発見。(仙台市泉図書館での出来事)
- ・いま図書館は市民にとって必要な存在へ。
- ・図書館3要素とプラスワンそれは人、資料、建物それと利用者

(南相馬のはなし)

- ・南相馬図書館では図書館友の会が200人ほどいる。
- ・日本の図書館はイギリスの図書館と比べて100年遅れている。資料の数が桁違いである。
- ・南相馬図書館は、ハイブリットライブラリー(本と電子)を目指している。これからは両方なければならない。片方では不十分である。
- ・南相馬図書館では「〇〇してはいけません」「〇〇はダメです」という表示はしないことにした。→それでもトラブルはほとんどない。
- ・それぞれの棚(分類)を司書で分担し、自分の棚は責任をもって管理する。
- ・普通に並べるだけでなく、本の表紙を見せるようにディスプレイするなどの工夫をしている。
- ・日本各地、世界の観光パンフレット(自治体や大使館等に依頼して送ってもらう)がある。地図や時刻表もあり、PCもある。そこで旅行の計画が立てられてしまう。
- ・パズルや子供用のおもちゃ、ぬいぐるみ、絵画等も貸し出し。図書館で貸せないものはない。
- ・企画として「大人の嗜み」「憲法」「いま、輝ける自分」などがあった。利用者や社会情勢等のニーズをつかんで企画。また「憲法」であれば、意見が偏らないように資料をそろえる。政党の機関紙もそろえてある。

- ・博物館の資料も持ってきて本と並べる。資料だけでなく、本物に触れることは極めて重要である。
- ・ティーンズコーナーに「ひとことカード掲示板」を設置。本のリクエストや進路等の相談を書いて掲示板にはる。必ず職員が回答する仕組み。
- ・求めている事が分からないとサービスができない。
- ・ティーンズコーナーの対象は10代～30代手前くらいまでと考えている。
- ・生活を支援する場としての図書館
- ・図書館に来る目的は本を読むためだけではない。おしゃべりをしに、ゲームをしに、お昼を食べに、でもいい。
- ・静かに本を読みたい人や勉強をしたい人も、おしゃべりをしたい人やゲームをしたい人も、どちらも使える図書館とするため、図書館は一定の座席数が必要、いろいろな場所に椅子があるのが良い。
- ・自分のお気に入りの場所が見つけれられる図書館。
- ・ハンディを持つ人が働くカフェが併設されている。
- ・震災後、図書館に明かりが灯ったときに市民の心の拠り所になった。花巻市であれば「花巻に帰ってきたら図書館へ行こう」と思えるような図書館が理想。

#### (県内・その他図書館)

- ・一関市図書館：県内でも図書館事業に力を入れており、専門職が多く、図書館は市内に8館ある。貸出期間は3週間と長く、貸出数も無制限。本を買う予算は1億円。
- ・紫波町図書館：性別、年齢、国籍問わず誰でも使える図書館を目指している。職員が知識と情報でおもてなしをする。
- ・福島県白河市：新刊のカバーをコピーして置いておく配慮。貸し出されていても本の確認ができる。専門職としての仕事の見本の一つである。
- ・宮城県大崎市：2階のほぼ全てをティーンズコーナーとしており、面積がとても広い。高校の図書委員が選書するなど、利用者目線でのサービスができている。実際にその世代の人達が使えるコーナーをつくっている。(ティーンズコーナーなのにティーンズが利用していない図書館多数…)
- ・コピー機(ゼロックス)はアメリカの図書館利用者が考えて生み出したもの。図書館は社会に地域に貢献し利益を生み出す場所。
- ・読みたい、知りたい情報がすぐ貸し出せる必要がある。それにより潜在的に持っていた能力が引き出され、高まるようなものであるべき。
- ・人は誰もが可能性を持っている。図書館は自分でも気づいていないような可能性や能力を引き出せる場所。知らないうちに知的なものに向かっていくことができる場所。だから楽しいと思える。
- ・図書館は税金でできている。市民は使う権利がある。

- ・図書館は自治体が自由につくれる。だから隣の町には全然雰囲気が違う図書館がある。県や国に伺いを立てる必要はなく、自分達のアイデアが実現できる可能性や自由度が高い行政の施設。
- ・図書館は共有財産である。建てられた図書館が市民に「これは私たちの図書館」という気持ちになれば良い。
- ・図書館が人と人とのつながりを強める場所になってほしい

(グループワーク、発表を聞いてのコメント)

- ・若い世代の方々が新しい図書館に大事なものを教えてくれた。
- ・図書館法には、やってはいけないなどという制約、規制などは明文化されていない。
- ・唯一やっていけないことは、お金を取ること。(公立図書館を規定した図書館法第17条にこの規定がある)
- ・今回発表されたことは、すべて出来る。出たアイデアはお金をかけずに実現できそうなものが多い。花巻市はぜひ参考にしてほしい。
- ・南相馬でも動物を飼うという意見があったが、東日本大震災があり実現しなかった。